

令和 7 年度原子力防災要素訓練の実施について

令和 8 年（2026 年）1 月
総務部危機対策局原子力安全対策課

1 訓練の目的

原子力災害が発生した状況を想定し、関係機関と連携し、防護措置に係る対応手順などを確認するとともに、関係機関の防災意識の高揚や防災対策に関する理解促進を図る。

2 主 催

北海道

3 実 施 日

令和 8 年 2 月 6 日（金）

4 場 所

札幌コンベンションセンター（札幌市白石区）

5 参加機関

U P Z 内 13 町村、避難先 9 市町村、北海道運輸局、北海道電力（株）ほか

6 訓練想定

北海道南西沖を震源とする地震が発生。地震後、北海道電力（株）泊発電所 3 号機において、設備故障により原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

7 訓練内容（予定）

- （1）一時滞在場所開設に向けた通信訓練
- （2）一時滞在場所の開設・運営
- （3）要配慮者の相談対応
- （4）観光客の帰宅支援
- （5）避難先ホテル等の調整・確保

8 そ の 他

訓練参加者及び関係機関に対する事後調査等により、課題等を把握・整理する。